

会 議 録

会議名 (審議会等名)	第7期相模原市中央区区民会議小委員会（グループ1）		
事務局 (担当課)	中央区役所区政策課 電話042-769-9802（直通）		
開催日時	令和5年6月14日（水） 10時30分～11時30分		
開催場所	市民会館2階 第2小会議室		
出席者	委員	4人（別紙のとおり）	
	その他	0人	
	事務局	2人（区政策課職員）	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<p style="text-align: center;">開 会</p> <p>1 議題 第7期中央区区民会議重点行動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子育て支援」 ・「子どもの健全な育成環境の充実」 <p>2 その他</p> <p style="text-align: center;">閉 会</p>		

<p>会議結果概要</p>	<p>現在開設されている無料学習塾や子ども食堂について、実態調査を行っていないため、どんな人たちが利用しているのか、また、支援を必要としている人が利用しているかなど詳細が分からない。そのため、子ども食堂や無料学習塾を運営している団体に対し、アンケート調査（立ち上げた目的、経緯、対象者、運営体制、財政面、運営者の意見、情報の発信方法、どのような人が利用しているか等）を行ってもらおう。また、情報発信の仕方についても検討していく。</p>
<p>主な内容は次のとおり。</p>	
<p>開 会</p>	
<p>事務局から、運営に係る事務説明を行った。</p>	
<p>—傍聴希望者 なし—</p>	
<p>1 議題</p>	
<p>事務局よりグループワーク参考資料を配布、説明し、グループワークを行った。</p>	
<p>主な意見等は以下のとおり。</p>	
<p>(八木委員)</p>	
<p>本当に支援を必要としている方がいるのかを調査することはできるのか。実際、無料学習塾も子ども食堂も必要としている人がどの程度いて、支援を求める人が利用しているのかなど実態に合っているのかが分からない。</p>	
<p>(割柏委員)</p>	
<p>団体同士連携をとってもらい、利用している人たちに意向調査をしてもらいたい。</p>	
<p>(八木委員)</p>	
<p>星が丘地区の子ども食堂は、社協の会員が呼びかけて立ち上げられたので、その地域に支援が必要な人（ご飯が食べれない、親が世話できない等）がいて、そのような人たちが利用しているかは分からない。運営側が調査をして実態が分かればいいのだが。</p>	
<p>新聞で利用者10人のうち1人でも本当に支援を必要としている人が来てくれればよしとするという記事を見た。</p>	
<p>(割柏委員)</p>	
<p>ある程度年数も経っているので振り返りという意味も込めて調査はしていかないか、と思う。</p>	
<p>(清水委員)</p>	
<p>子ども食堂について、そもそも開催日数が少ないと思う。本当に食を必要としている子どもが利用するには開催日数が合っていないと感じる。また、子ども食堂に行くと、あそこの子は貧困家庭の子どもというイメージがつくという話も聞いている。</p>	
<p>(八木委員)</p>	
<p>子ども食堂だけでなく、家庭に食材を届ける支援をしている団体もある。</p>	
<p>子ども食堂などを運営している団体にアンケート調査で実態を把握してもらい、方針を決めてもらうのがいいのではないか。</p>	
<p>市で子ども食堂など把握しているところはないのか。</p>	
<p>(事務局)</p>	
<p>子ども・若者支援課（青少年学習センター）が担当しており、子ども食堂を運営している</p>	

団体のリストがあるはず。ただ実態調査をしているかまでは分からない。

(割柏委員)

実態調査まではしてないはずだ。

(八木委員)

青少年学習センターでは大学生向けに支援をしていた。支援が必要といわれる家庭に食材を届けるやり方でもいいのではないか。

無料学習塾についてはどこが担当しているのか。

(事務局)

同じく子ども若者支援課が市社会福祉協議会にこどもの居場所づくり事業で委託しているが、実態調査まではしていないと聞いている。

(八木委員)

地区によっては、学校と地域が連携して支援しているところや、各地区にCSW（コミュニティソーシャルワーカー）がおり、CSWから子ども食堂などの運営団体に働きかけをするケースもある。

(割柏委員)

地域によって違いがある。

(八木委員)

学校との連携についても校長先生の判断や考え方で違いがでるようだ。

そのため、運営団体の方で、どういう経緯でその場所に設立したか、運営状況や、支援を必要としている人がどの程度通っているのか等の調査が必要だと思う。

(割柏委員)

調査の中で併せて保護者の状況や、子どもの状況についても分かればいいと思う。

(八木委員)

星が丘地区の無料学習塾は特に支援が必要な人向けではなく、来たい人に来てもらっている。周知は、地域情報誌などで行っているが、詳細は載せていない。実際に支援が必要な人が来ているかは分からない。

現在運営している無料学習塾や子ども食堂の団体の立ち上げた目的、対象者、財政的な内容などが知りたい。

(割柏委員)

ボランティアの方がどのような団体から推薦されているのか等も分かればいい。

(八木委員)

運営団体に対し、立ち上げた目的・経過・運営体制・財政的な面や運営者の意見を市の担当課でアンケート調査して集約してもらいたい。

(清水委員)

現状どのような方が利用しているのかも聞きたい。

(割柏委員)

利用者についてアンケートをとるのが難しければ客観的な意見でもいいと思う。

(八木委員)

次に、こども食堂や無料学習塾をやっているという情報をどこで拾うかが問題である。情報が必要な人にどのように情報を届けるのか。自治会回覧や地域情報誌は早くても情報が届くのに7～10日かかる。また、広報さがみはらは全戸配布でないため市民全員に情報が行き届いていない。

(割柏委員)

自治会加入率は下がっているし、新聞を取っていない人も増えている。本当に必要な人に情報を渡せていない。

(八木委員)

アンケート調査の項目に、どのように情報を発信しているかも入れてほしい。

(事務局)

担い手についてはどうか。

(八木委員)

教師OBや、大学生に声をかけてやっているところはある。団体がどのようにスタッフを集めているかも調査項目に入れた方がいい。

(割柏委員)

「塾」というと、勉強のイメージ。専門の方から聞いた話だと、子どもにこの時間は勉強と言っても学習習慣がない子には難しい。そうではなくて、まず子どもに勉強に楽しみを見出しながら、学習習慣を身に着けていく。その楽しさを教える支援が必要ではないか。まずは一緒に遊んでくれる人、一緒に工作してくれる人などがいるといい。

(八木委員)

無料学習塾の中では休憩時間は何をしてもいいという決まりのところもあるし、休憩時間にお菓子を食べるところもある。

まずはその場所に集まって、勉強でも工作でもなんでもやっていいという無料学習塾もある。

(割柏委員)

勉強だけでなく、子どもと遊んでくれればいいと、担い手を募集したりするがなかなか集まらない。

(八木委員)

前回の会議で親への支援も必要だという話がでたが、親同士が寄り添える場所を作るというのは難しいと思う。

(割柏委員)

当事者同士は繋がっていたりもするが、地域から親への支援は難しいと思う。

(清水委員)

保護者同士でLINE交換してつながりを持つが、実際に会って何かをするということは少ない気がする。

(割柏委員)

公民館を開放して親向けのサークル活動をやったことがあるが、だんだん参加者が少なくなる。仕掛け作りはやっているが自然消滅が多い。本当はこういうことをきっかけに地域と

繋がってもらえたら嬉しいのだが。

(小川委員)

学習に対する興味を育てるのが公の仕事であり、学習そのものを支援していくのは公の仕事としていいのか疑問が残る。

(八木委員)

これまでも各団体が自主的に子どもの居場所作りの場所を立ち上げており、市はその団体の支援をしている。また、そういった仕組みづくりは市がやっている。

(八木委員)

こどもの居場所作りを担当している課で、実態調査をしているのであればその内容を提供していただき、していないのなら、実態調査を依頼する方向でお願いしたい。

また、こども食堂や無料学習塾の情報を提供する方法（チラシなのか地域情報紙なのか）について確認した上で次回の会議で検討していきたい。

以 上

第7期第5回相模原市中央区区民会議小委員会（グループ1） 委員出欠席名簿

No.	氏 名	所 属 等	出欠席
1	小川 紳夫	相模原市公民館連絡協議会	出席
2	加賀谷 育子	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら	欠席
3	酒井 志保	相模原市立小中学校PTA連絡協議会	欠席
4	清水 洋子	相模原市私立保育園・認定こども園園長会	出席
5	高橋 采花	公募委員	欠席
6	八木 鉄雄	星が丘地区まちづくり会議	出席
7	割柏 秀規	光が丘地区まちづくり会議	出席